

夏の暑さも過ぎ、秋の季節です。食欲の秋・スポーツの秋・行楽の秋などさまざまな「〇〇の秋」がありますが、樹木も色づき始め、1年で一番過ごしやすい涼しく爽やかな季節です。みなさん、冬眠？する前にせいぜい身体を動かしましょう。

■『三重県障害者施策推進協議会 手話施策推進部会』が開催されました！！

今年6月に成立した「三重県手話言語条例」に基づき、手話を使いやすい環境づくりを目指した三重県手話施策推進計画（仮称）の策定に向けて、第1回目の手話施策推進部会が当センターにて開催されました。

部会は推進計画について協議を重ね、11月頃に中間案、来年2月に最終案を取りまとめる予定です。どのような施策になるのでしょうか？期待したいですね。



『三重県障害者施策推進協議会 手話施策推進部会』 （所掌事項）

手話を使用しやすい環境を整備するために必要な施策の策定および変更について調査審議する

（委員）

林 智樹（金城学院大学教授）
 深川誠子（三重県聴覚障害者協会会長）
 奥谷勝幸（三重県立聾学校PTA前会長）
 佐藤俊通（三重県手話通訳問題研究会会長）
 松田佳子（三重県手話サークル連絡協議会会長）
 奥井和彦（株式会社東芝四日市工場総務部長）
 中村富美（伊勢市健康福祉部参事兼高齢・障がい福祉課長）
 森井博之（三重県教育委員会特別支援教育課長）
 宮下昌彦（三重県立聾学校校長）

■内閣官房ホームページに『マイナンバー制度の聴覚障害者向けページ』ができました！



「15歳から学ぶマイナンバー」小冊子

聴覚障害者のみなさまに、マイナンバー制度の概要や、そのメリット、安心・安全な仕組みなどについて、わかりやすくお伝えしようと、内閣官房ホームページに『マイナンバー制度の聴覚障害者向けページ』ができました。

このページでは、手話及び字幕付きの動画でマイナンバー制度について、伝えようとしています。

【マイナンバー制度 聴覚障害者の方へ】

http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/mynumber/ad/?sec1_sj

また、当センターのパンフレット棚にも「マイナンバー制度小冊子」を置いてありますので、ぜひお立ち寄りの際はごらんください！

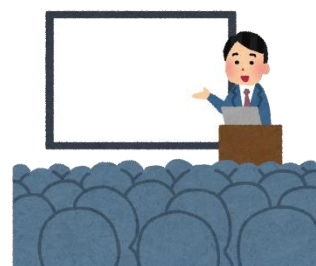
■平成28年度当センター相談員研修

当センターでは、登録相談員を対象とした相談員研修を行っています。

本年度は8月に①「三重県障害者相談員等研修会（主催（公社）三重県障害者団体連合会）」と②「聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会（主催（社福）聴力障害者情報文化センター）」が行われ、①には4名、②は1名参加いただきました。

①の内容は、「障害者総合支援法施行3年後の見直し」と「障害者差別解消法の合理的配慮について」です。

②の内容は「聴覚障害者の心理的な諸問題、労働場面におけるメンタルヘルスなど心を支える支援について」の研修でした。



三重県聴覚障害者支援センター

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階 FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302
<http://www.deaf-mie-center.com/> e-mail: deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp
 □利用時間 午前8時30分～午後5時 □休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

三重 聴覚



字幕映像ライブラリー NEWS

いよいよ、季節は秋。グルメやスポーツや行楽など、楽しんでおられるかと思いますが、映像文化も楽しんでみませんか？今回も、当センターイチオシの作品を紹介しちゃいます。秋の夜長はこれでキ・マ・リ!?

「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 『釣りバカ日誌 13』



おなじみのハマちゃん、スーさんの釣りバカコンビが、富山を舞台に騒動を繰り広げるコメディ・シリーズです！北見けんいちによる原作コミックを下敷きに、「釣りバカ日誌 12」の山田洋次と朝間義隆が共同で脚本を執筆しています。

富山の老舗薬問屋・黒部屋天狗堂の会長で、釣り仲間である黒部から美術館建設の仕事を請け負ったハマちゃん。

しかし、美術館設計を手がけることになったミス・スズケンと呼ばれる桐山桂を、黒部屋会長は気に入ってしまい、自分の息子の嫁に欲しいと、とんでもないことを言い出した。

会長の機嫌を損ねては契約がご破算になってしまう。しかも、桂には透と言う秘かな想いを寄せる人がいた。困り果てたハマちゃん……。これからどうなるのだろうか？

■当センター自主制作番組 『鳥羽水族館 もっと！水の惑星（ほし）紀行』

『もっと！水の惑星（ほし）紀行』は、鳥羽水族館と（株）ZTV伊勢放送局が共同制作した、ラッコやアザラシ等、豊富な生きものの映像を使い、野生生物の暮らしを紹介しながら、生命と地球環境について一緒に考えていく、毎月放映されているシリーズ番組です。

その人気番組に、当センターが字幕付与を行いました。お子さんはもちろん、大人の方でも思わぬ発見や驚きがあり、見ていて楽しめる内容です。

さて、今回紹介するのは・・・

「硬い体で身を守る」

〈番組の内容〉

名前によろい（鎧）やかぶと（兜）がつく生きものを知っていますか。2億年も前から形を変えないカブトガニ。大きくなればなるほど硬くなるんだとか。ピラルクは矢もはじく硬さ。ウロコはくつぺらとしても使われるようです。

また、世界一の甲羅の幅をもつタスマニアオオガニは、ハサミも最大級！ほかに貝やカメも登場します。

ぜひ、ごらんください。

鳥羽水族館・(株)ZTV伊勢放送局 制作番組



【2015年制作】
硬い体で身を守る



三重県聴覚障害者支援センター